

第 6 回「地質の日記念」&「南紀熊野ジオパーク認定応援」イベント 地玉の浜のオーソコーツァイト探し

◎地質の日イベントが開催されました!◎

毎年5月10日は「地質の日」。環境省 熊野自然保護官事務所の各所では、毎年地質に関するイベントを吉野熊野国立公園の各所で実施しています。第6回目となる本年は、宇久井半島地玉の浜で見られる太古の石“オーソコーツァイト”探しに取り組みました。



やたがらす君

◎オーソコーツァイトとは?◎

吉野熊野国立公園 宇久井半島 地玉の浜で見られる石“オーソコーツァイト”。半透明で艶があり、表面が滑らかです。白っぽいもの、黒っぽいもの、ピンク色のものなどがあります。

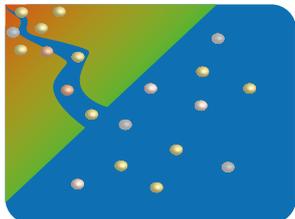
オーソコーツァイトは石英の砂粒が集まったもので、このような岩石は砂漠の発達するような大陸で形成されるとされています。

そんなオーソコーツァイトが、なぜ日本の、ここ熊野で見られるのでしょうか?それには、紀伊半島の成り立ちが関わっています。



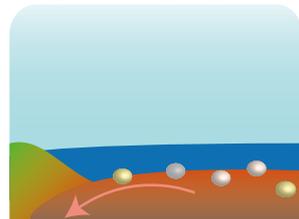
大陸でできたオーソコーツァイトが、川の流れて運ばれて海底に到達する

8～5億年前



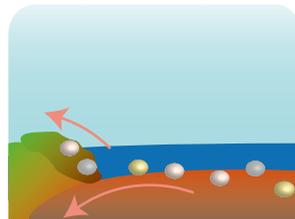
プレート運動により、海底の堆積物がはぎとられて、陸側にくっつくこと(=付加)で、付加体である日本列島の形成が始まる

5億～3000万年前

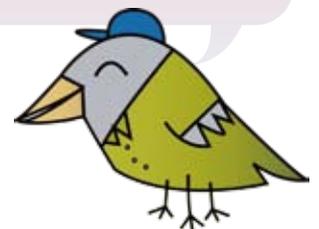


付加が進んで紀伊半島が隆起し、オーソコーツァイトが見られるようになる

3000万年前～現在



宇久井半島は、日本や紀伊半島の成立の歴史を垣間見ることができる、貴重な場所だと言えます!



◎イベントのようす◎



地玉の浜に到着後、講師の先生からオーソコーツァイトについての解説を聞きました



さっそくオーソコーツァイト探しを開始



簡単には見つかりません

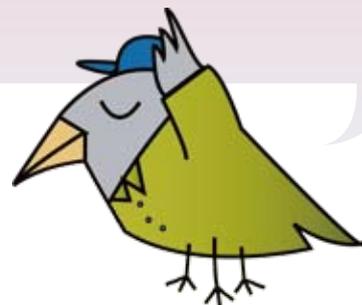


これがオーソコーツァイト。滑らかな表面をと落ち着いた色艶が魅力的です



見つけた石を確認してもらいます

今回は 65 名の方に参加していただきました。環境省主催の「地質の日」イベント始まって以来の人数でした!



主催	環境省 近畿地方環境事務所
参加者	65 名